



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ

コード番号 7280

URL <http://www.mitsuba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 武 信幸 (TEL) 0277-52-0113

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	73,910	18.2	4,546	32.4	4,237	△20.2	2,125	△38.6
26年3月期第1四半期	62,535	10.8	3,434	41.1	5,310	112.1	3,458	207.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,910百万円(△78.2%) 26年3月期第1四半期 8,764百万円(190.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	47.48	—
26年3月期第1四半期	77.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	258,627	69,189	22.3
26年3月期	258,186	68,011	21.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 57,583百万円 26年3月期 56,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	8.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	2.3	8,000	△9.1	8,000	△21.4	4,000	—	89.36
通期	280,000	2.7	18,000	5.5	18,000	△11.9	9,000	28.1	201.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	45,581,809株	26年3月期	45,581,809株
27年3月期1Q	821,542株	26年3月期	821,307株
27年3月期1Q	44,760,433株	26年3月期1Q	44,782,743株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が懸念されておりましたが、政府の経済金融政策等により個人消費の大幅な落ち込みは見られず、景気は緩やかな回復となりました。世界経済は、米国の雇用環境や個人消費の改善、住宅価格の上昇等により景気の回復基調が継続し、新興国におきましても経済成長率が低下したものの概ね堅調に推移しました。しかしながら、先進国での量的金融緩和策縮小の警戒感等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は739億10百万円（前年同期比18.2%増）、連結営業利益は45億46百万円（前年同期比32.4%増）、連結経常利益は42億37百万円（前年同期比20.2%減）、法人税等と少数株主利益を控除し、四半期純利益は21億25百万円（前年同期比38.6%減）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は717億33百万円（前年同期比18.5%増）となり、セグメント利益は45億67百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

情報サービス事業の売上高は20億94百万円（前年同期比12.4%増）となり、セグメント損失は1億4百万円（前年同期は32百万円のセグメント損失）となりました。

その他事業は、売上高は6億51百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は80百万円（前年同期比74.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、2,586億27百万円（前連結会計年度末2,581億86百万円）となり、4億41百万円増加しました。流動資産は1,496億56百万円となり10億53百万円増加し、固定資産は、1,089億71百万円となり6億12百万円減少しました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が24億73百万円増加したことが主な要因です。固定資産は、有形固定資産が2億42百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,894億37百万円（前連結会計年度末1,901億74百万円）となり、7億36百万円減少しました。流動負債は、1,114億76百万円となり11億71百万円減少し、固定負債は779億61百万円となり4億34百万円増加しました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が20億90百万円減少したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が1億57百万円増加したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、691億89百万円（前連結会計年度末680億11百万円）となり、11億78百万円増加しました。これは利益剰余金の増加が主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に発表しました予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動はありませんが、当第1四半期連結会計期間より、㈱両毛ビジネスサポート、㈱両毛インターネットデータセンター及び広州三葉電機(武漢)有限公司を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

これによる損益及び財政状態に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,523	43,684
受取手形及び売掛金	45,679	48,152
有価証券	505	1,201
商品及び製品	15,285	13,278
仕掛品	3,423	3,945
原材料及び貯蔵品	21,090	19,597
繰延税金資産	3,439	3,543
その他	15,803	16,394
貸倒引当金	△148	△142
流動資産合計	148,602	149,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	58,897	58,758
減価償却累計額	△38,895	△39,123
建物及び構築物(純額)	20,001	19,635
機械装置及び運搬具	118,721	119,142
減価償却累計額	△88,386	△89,002
機械装置及び運搬具(純額)	30,335	30,139
工具、器具及び備品	46,167	46,141
減価償却累計額	△42,108	△42,322
工具、器具及び備品(純額)	4,058	3,819
土地	6,739	6,657
リース資産	3,790	4,215
減価償却累計額	△1,686	△1,925
リース資産(純額)	2,104	2,289
建設仮勘定	5,020	5,475
有形固定資産合計	68,260	68,018
無形固定資産		
ソフトウェア	1,665	1,665
ソフトウェア仮勘定	1,881	2,309
その他	1,385	1,509
無形固定資産合計	4,932	5,484
投資その他の資産		
投資有価証券	23,227	22,263
長期貸付金	1,758	2,176
繰延税金資産	1,572	1,551
長期前払費用	415	425
退職給付に係る資産	7,894	7,777
その他	1,575	1,328
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	36,390	35,468
固定資産合計	109,583	108,971
資産合計	258,186	258,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,231	26,141
短期借入金	47,140	46,510
1年内償還予定の社債	128	128
未払金及び未払費用	24,542	23,637
未払法人税等	1,668	2,069
賞与引当金	4,535	6,380
製品保証引当金	1,457	1,762
その他の引当金	144	142
その他	4,799	4,704
流動負債合計	112,648	111,476
固定負債		
社債	84	84
長期借入金	60,834	60,992
長期未払金	10,680	10,596
繰延税金負債	3,014	2,956
退職給付に係る負債	1,009	1,040
その他	1,903	2,290
固定負債合計	77,526	77,961
負債合計	190,174	189,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,719	15,719
利益剰余金	28,888	30,534
自己株式	△596	△597
株主資本合計	53,896	55,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,869	2,981
為替換算調整勘定	△602	△1,394
退職給付に係る調整累計額	493	454
その他の包括利益累計額合計	2,760	2,041
少数株主持分	11,354	11,606
純資産合計	68,011	69,189
負債純資産合計	258,186	258,627

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	62,535	73,910
売上原価	53,332	62,609
売上総利益	9,203	11,301
販売費及び一般管理費	5,768	6,755
営業利益	3,434	4,546
営業外収益		
受取利息	70	90
受取配当金	153	196
持分法による投資利益	381	264
為替差益	1,519	-
その他	116	203
営業外収益合計	2,240	755
営業外費用		
支払利息	266	271
為替差損	-	642
その他	98	150
営業外費用合計	364	1,064
経常利益	5,310	4,237
特別利益		
固定資産売却益	5	11
投資有価証券売却益	118	-
受取保険金	0	118
その他	8	7
特別利益合計	132	136
特別損失		
固定資産除却損	8	17
減損損失	0	90
取引調査関連損失	42	79
その他	26	0
特別損失合計	77	188
税金等調整前四半期純利益	5,365	4,186
法人税等	1,295	1,589
少数株主損益調整前四半期純利益	4,070	2,596
少数株主利益	611	471
四半期純利益	3,458	2,125



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,070	2,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184	119
為替換算調整勘定	4,131	△739
退職給付に係る調整額	-	△40
持分法適用会社に対する持分相当額	378	△25
その他の包括利益合計	4,694	△686
四半期包括利益	8,764	1,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,741	1,406
少数株主に係る四半期包括利益	1,023	504

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,365	4,186
減価償却費	2,583	3,044
貸倒引当金の増減額(△は減少)	51	△3
受取利息及び受取配当金	△223	△287
支払利息	266	271
持分法による投資損益(△は益)	△381	△264
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△2,815	△3,070
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,395	2,414
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,084	△1,174
その他	30	1,066
小計	6,184	6,172
利息及び配当金の受取額	223	349
利息の支払額	△233	△189
法人税等の支払額	△1,157	△1,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,017	5,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	5	-
有形固定資産の取得による支出	△3,135	△2,872
有形固定資産の売却による収入	123	237
投資有価証券の取得による支出	△6	△8
投資有価証券の売却による収入	238	-
貸付けによる支出	△264	△544
貸付金の回収による収入	603	36
その他	△391	△672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,827	△3,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△175	319
長期借入れによる収入	442	637
長期借入金の返済による支出	△547	△603
配当金の支払額	△357	△358
少数株主への配当金の支払額	△226	△331
その他	△348	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,213	△758
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,795	△145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,772	277
現金及び現金同等物の期首残高	30,964	42,158
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	301	574
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,039	43,010

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	60,317	1,648	569	62,535	—	62,535
セグメント間の内部売上高又は振替高	192	214	59	465	(465)	—
計	60,509	1,863	628	63,001	(465)	62,535
セグメント利益(又はセグメント損失)	3,415	(32)	46	3,429	4	3,434

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	71,570	1,744	595	73,910	—	73,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	163	349	55	568	(568)	—
計	71,733	2,094	651	74,479	(568)	73,910
セグメント利益(又はセグメント損失)	4,567	(104)	80	4,543	2	4,546

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。